

○ 現地校等との交流活動(平成18年4月15日現在)

(1) 現地校、国際学校との交流(実施状況)

相手先校の種類	日本人学校数	割合
現地校	85	100.0%
特殊教育諸学校	6	7.1%
国際学校	22	25.9%
大学	7	8.2%

(2) 現地校、国際学校との交流の内容

交流の内容	日本人学校数	割合	例	示
文化紹介・交流	50	58.8%	○国際学校:ゲーム・もちつき・日本文化紹介。[中1～中3] ○現地校:2校を訪問し、絵画・体育・音楽等で交流を実施。また2校を訪問招待して合唱、和太鼓、折り紙など日本の伝統文化を紹介し交流活動を実施。[全学年] 等	
スポーツ分野	47	55.3%	○国際学校:スポーツ交流会[小4～中3] ○国際学校:水泳教室[全学年] ○国際学校:野球大会[中1～中3] 等	
交流授業	39	45.9%	○公立現地校:1日交換留学(お互いの授業に入り込ませる)。[小3～中3] ○現地校の授業に参加及び授業の提供。[小1～小6] 等	
音楽分野	15	17.6%	○音楽・スポーツ・ゲームなどによる交流。 ○現地校:音楽交流授業[小1・小2] 等	
学習発表会等への招待	10	11.8%	○現地校:交流弁論、合唱、交流授業、音楽発表会[中1～中3] ○現地校:学習発表会、定期交流会[全学年] 等	
共同制作等	5	5.9%	○現地校:日本の伝統的な遊び、所在国の遊び、体育、図工等の合同授業[小1～小6] 等	
ホームステイ	3	3.5%	○現地校:ホームステイ(相互)[中1] ○現地校:ホームステイ(相互)[小5希望者] 等	
英会話交流	3	3.5%	○現地公立校:相互に英会話を使用しての交流[中1～中3]	
その他			○現地公立校:同一の敷地内にあるため、広範囲な交流を行っている。[全学年] ○現地大学日本語科:日本と現地の文化紹介・相互交流。 [全学年] 等	

※ ①学校数は延べ数である。

②「学校交流」等のみ回答に記載し、具体的内容が不明であった事例は除いている。